

別紙 2

連続再生式DPF再生性能評価に係る運転モード

| No. | 項目 | 運転条件 | 時間(s) | 備考 |
|-----|--------------|--|-------|------------------------|
| 1 | 暖機運転 | エンジン最高出力時の60%の回転数で負荷率30%の状態での定常運転 又は、60km/hでの定常走行 | 1200 | |
| 2 | 過渡走行モード運転1回目 | DPF評価用過渡走行モード | 1800 | |
| 3 | モード間運転 | アイドリング | 600 | アイドリング運転終了時の排ガス温度を記録する |
| 4 | 背圧測定1回目 | 無負荷急加速運転 | - | |
| 5 | 過渡走行モード運転2回目 | DPF評価用過渡走行モード | 1800 | |
| 6 | モード間運転 | アイドリング | 600 | |
| 7 | 過渡走行モード運転3回目 | DPF評価用過渡走行モード | 1800 | |
| 8 | モード間運転 | アイドリング | 600 | |
| 9 | 過渡走行モード運転4回目 | DPF評価用過渡走行モード | 1800 | |
| 10 | モード間運転 | アイドリング | | |
| 11 | 背圧測定2回目 | 無負荷急加速運転 | - | |

無負荷急加速運転による背圧計測

アクセルペダルを急速に一杯に踏み込み15秒間持続した後、アクセルペダルを直ちに離しこの間のピーク背圧を測定する。

背圧測定2回目の開始タイミング

アイドリング運転中の排ガス温度がNO.3で測定した温度に到達した時点で、速やかに無負荷急加速運転を開始する。

背圧変化率を以下により算出するものとする。

$$\text{背圧変化率 (kPa/km)} = \frac{(\text{2回目の背圧測定値 (kPa)} - \text{1回目の背圧測定値 (kPa)})}{13.917 (\text{km/test}) \times 3}$$